

# 財団法人 共立国際交流奨学財団 2006 年度奨学生

支給期間：2006 年 4 月～2008 年 4 月、支給内容：月額 10 万円

## ＜大学院 5 名＞

番号	学校名	学部・学科・課程	姓名	国籍	性別
1	高崎経済大学大学院	経済研究科／ 経営管理前期博士課程	陳 昊 チン コウ	中国	男
2	山梨大学大学院	教育学研究科／ 教科教育専攻修士課程	ムンフトウムル エンフジャルガル	モンゴル	女
3	神戸大学大学院	国際協力研究科／ 博士後期課程	トン キムスン	カンボジア	男
4	京都大学大学院	文学研究科／ 歴史文化学専攻博士課程	白 海 提 パフティヤル・イスマーイール	中国	男
5	横浜国立大学大学院	環境情報研究科／ 環境マネジメント専攻博士前期課程	金 美愛(現地) キム ミエ	韓国	女

## ＜大学 5 名＞

番号	学校名	学部・学科・課程	姓名	国籍	性別
6	国際基督教大学	国際関係学部／国際関係学 科	コイララ アシュマ	ネパール	女
7	電気通信大学	電気通信学部／電子工学科	徐 峰寧 ジョ ホウネイ	中国	男
8	専修大学	文学部／日本語日本文学部	高 朝 順 コウ チョウスン	韓国	女
9	鹿児島大学	農学部／獣医学科	金 善熙 キム ソンヒ	韓国	女
10	早稲田大学	スポーツ科学学部	林 錫峻(現地) リム ソクジュン	韓国	男

## ＜専門学校 5 名＞

番号	学校名	学部・学科・課程	姓名	国籍	性別
11	学校法人・専門学校 東洋美術学校	プロダクトデザイン科	林 黎兒 リン リア	台湾	女
12	日本電子専門学校	情報セキュリティ科	ゾー ウィン	ミャンマー	男
13	日本映画学校	映像科	方 又 玆 バン ウヒョン	韓国	男
14	国際トラベルホテル 専門学校	観光総合学科	アندگانシア	インドネシア	女
15	東放学園	証明クリエイティブ	丁 恵廷(現地) チョン ヘジョン	韓国	女

※現地：大韓民国ソウルにて行われた「現地採用奨学生選考会」によって選ばれた奨学生

# 財団法人 共立国際交流奨学財団 2007 年度奨学生

支給期間：2007 年 4 月～2009 年 4 月、支給内容：月額 10 万円

## ＜大学院 6 名＞

番号	学校名	学部・学科・課程	姓名	国籍	性別
1	室蘭工業大学大学院	工学研究科／ 機械システム専攻修士課程	鄭 ヨンフイ 鄭 永輝	中 国	男
2	電気通信大学大学院	電気通信学研究科／ 電子工学専攻修士課程	シュレスタ スラズ	ネ パ ー ル	男
3	東京医科歯科大学大学院	医歯学総合研究科／ 救命救急専攻博士課程	ビラリ ハサン 比拉里 艾山	中 国	男
4	群馬大学大学院	工学研究科／ 電気電子工学専攻修士課程	サントス アリオ ウィボワ	インドネシア	男
5	琉球大学大学院	理工学研究科／ 環境建設工学専攻修士課程	ヨウ ハン 楊 帆	中 国	男
6	大阪大学大学院	文学研究科／ 日本学専攻修士課程	シン ジョンミョン 沈 正 明（現地）	韓 国	女

## ＜大学 4 名＞

番号	学校名	学部・学科・課程	姓名	国籍	性別
7	東京大学	法学部／私法学科	カイ メイメイ 解 明明	中 国	女
8	東京農工大学	工学部／情報工学科	ジョン シンウ 鄭 信雨	韓 国	男
9	京都大学	工学部／電気電子工学科	リョウ エイ 梁 永	中 国	男
10	慶應義塾大学	経済学部／経済学科	イ ウンジェ 李 雄載（現地）	韓 国	男

## ＜専門学校 5 名＞

番号	学校名	学部・学科・課程	姓名	国籍	性別
11	アクト情報ビジネス専門学校	情報ビジネス科	グエン チ ディエム	ベ ト ナ ム	女
12	東京ビジュアルアーツ	マスコミ編集学科	シム ジヒョン 沈 智賢	韓 国	女
13	華学園ビジネス専門学校	コンピューター学科	ウィン ウィン カイン	ミャンマー	女
14	静岡工科自動車大学校	自動車システム工学科	ハク コウトウ 白 孝東	中 国	男
15	文化服装学院	服装科	ヤン ガヨン 楊 佳英（現地）	韓 国	女

※現地：大韓民国ソウルにて行われた「現地採用奨学生選考会」によって選ばれた奨学生

## 2007 年度 奨学金授与式を行いました！

2007 年 3 月 31 日、(財)共立国際交流奨学財団奨学生[10 万円、2 年間]に採用された 15 名及び(株)共立メンテナンス奨学基金奨学生[6 万円、1 年間]に採用された 25 名、計 40 名の奨学金授与式が行われました。授与式では、緊迫した雰囲気の中、理事長による挨拶・財団紹介・そして奨学生採用証と奨学金が 1 人 1 人の手に授与されました。

授与式終了後には、奨学生同士の交流を深めるために親睦会が催されました。

奨学生同士の会話も活発に行われ、授与式の緊張した空気とは一変して楽しい雰囲気の中で親睦を深められたようです。

今後の予定として、6 月には 2006 年度及び 2007 年度共立国際交流奨学財団奨学生参加の箱根研修会を予定しています。今回の親睦会では、交流ができなかった人とも親睦を深められるような研修会にしていきたいと思います。



授与式会場風景



奨学金授与



2007 年度  
共立国際交流奨学財団奨学生  
集合写真



親睦会にて